

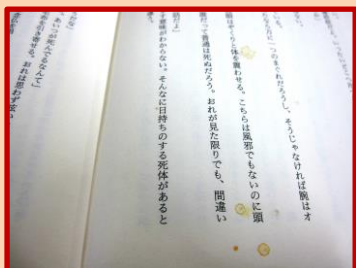
本を大切にしましょう！！

本を大切にしたいくなる本！



水濡れ！

ごわごわのパリパリです。時には、びしょりと、濡れたままの返却も…。
こんな状態では読みたくないですね。
雨の日は、ビニールに入れて持ち歩くと、濡れにくいよ！



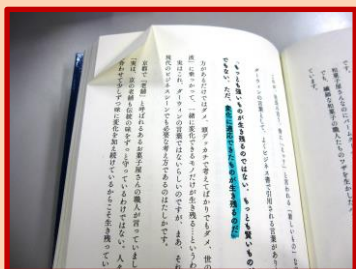
汚れ！！

ぽつぽつとシミになっています。
本を読みながらラーメンでも食べたのかな。
しかもカレー味かな。本を読みながらの飲食は極力さげ、食べたり飲んだりする時には細心の注意をはらってください！



やぶれ！！セロテープでの修復…。

ビリビリに破れた形跡があり、さらにセロテープでの修復がしてあります。お気持ちはありがたいのですが、劣化しにくい専用のテープで補修しますで、破いてしまった時には補修せずスタッフにお申付けください。



書き込み！ドッグイヤー…。

蛍光ペンでの書き込み！しかも、ページの隅を折り曲げてドッグイヤーがしてあります。自分の本なら、自由に扱ってもよいのですが、図書館の本はみんなが読む本です。大切に扱ってください。

「この本が世界に存在することに」

角田 光代／メディアファクトリー

本に対する想いがたくさんつまった9つの短編集。
何気なく手に取ったその本は、誰かの大切な本かもしれない。そう思えたら今までよりもっと本を大切にできるかもしれませんよ。



「本 あたらしい教科書」

永江 朗 監修／プチグラパブリッシング

編集や本の作り方、装丁、印刷、流通、販売形態、本の修復や保存の仕方まで！！本に関することが盛りだくさんで紹介されています！たくさんの人の手が掛けられて1冊の本が出来あがるんだ！



「手で作る本」

山崎 曜／文化出版局

シンプルな本から、和本、ハードカバーの本、リボンでとじる本、革表紙の本まで、いろいろな製本の技法を紹介。自分だけのお気に入りの本を作ってみてはどうでしょう？



「本屋さんで本当にあった心温まる物語」

川上 徹也／あさ出版

やさしくて、ほっこりするおはなしに思わず目頭が熱くなり、本が持っているチカラを改めて実感できる。
1話が数ページなので、ちょこっと読みに最適。

